



1月

教育研究所だより

東 雲

第318号

2022年1月4日

令和3年度後期教育研究員

「所長講話」

～学び続けるって…どうということ？～



大城讓次所長がこれまで読まれた本の中から、著者の示した事例を基に、教師を含めた大人の言動が何をもたらすのか、学校で留意すること等についてご講話いただきました。これからの社会を生きていく子供たちにどのようにたくましく生きる力を育成していくかを考える機会となりました。

【研究員の感想】

- 「これまでの当たり前を見直すこと」「何が大事か、本質を見極めて教師・大人から挑戦していこう」という所長のメッセージを胸に、今後も学び続ける教師を目指していきたい。
- 子供を多角的・多面的に見ること、子供と関わる様々な人々から情報を収集し判断すること、これこそが大事で、そのための「連携」なのだと感じた。
- 自分自身を振り返り、自分事として考える機会となった。紹介いただいた本にとっても興味深く感じるものがたくさんあり、本を通して学んでいきたいと思った。

令和3年度後期教育研究員 所内研修

「琉舞クラブ」

沖縄の伝統文化への理解を図り、教育活動の充実に役立てることを目的に、全6回実施されました。講師の宮城伸子先生から、「かぎやで風」の実技指導や琉歌等の講話がありました。また、「琉舞発表会」が行われ、南部広域行政組合の事務局長はじめ各課の皆さん、しののめ教室児童生徒の参加のもと、活動の成果を披露しました。

【研究員の感想】

- かぎやで風の所作の意味や琉歌に込められた想いについて丁寧に教えて頂き、毎回たくさんの学びがあった。教師として沖縄の伝統芸能の灯を絶やさぬよう、子供たちに伝えていきたい。
- 練習のなかで「間」を持つことを教えて頂いた。これは、授業実践にもつながると感じ、教師という仕事はどの分野からもヒントがあり、自らを高めるきっかけがあることを改めて思った。今回の経験を今後の授業実践にいかしていきたい。
- お客様に披露することを意識して扇子の向きや顔の位置を細かくご指導いただいた。みんなと息を合わせることがようやく最終日にできたと思う。かぎやで風の奥深さに触れることができてもよかった。今後、かぎやで風を踊る機会があれば、積極的に参加したい。



琉舞発表会【令和3年12月17日実施】にて

(左から) 嶺井育馬・宮城俊文・新垣誠・

大城讓次所長・宮城伸子先生・仲間智紀局長・前大えり・徳田安彦

1月の主な予定

4	火	仕事始め 検証授業期間開始 (～1/25) チャレンジ登校 [しののめ教室] (～1/14)
5	水	ビデオ研修会
6	木	しののめ教室スタッフ会議 しののめ教室教育相談 (～1/12)
7	金	ビデオ研修会
10	月	成人の日
12	水	本検証授業・本検証授業研究会 (南風原中学校 前大えり先生)
13	木	しののめ教室調理実習 本検証授業・本検証授業研究会 (知念中学校 新垣 誠先生)
14	金	令和4年度長期研究員募集締切 本検証授業・本検証授業研究会 (伊良波小学校 嶺井育馬先生)
18	火	本検証授業・本検証授業研究会 (上田小学校 宮城俊文先生)
19	水	しののめ教室「沖適連活動展示報告会」参加
20	木	本検証授業・本検証授業研究会 (西崎小学校 徳田安彦先生) しののめ教室スタッフ会議 南部広域行政組合教育委員会
24	月	南部広域行政組合幹事会
26	水	教育講演会
28	金	ヒアリング⑦ (検証・考察・まとめ)
31	月	指導講師検討会④ (～2/3)

お知らせ

参加者募集中

第1回島尻教育研究所

教育講演会

日時 令和4年 1月 26日(水)
受付開始 14:00 開演 14:30

場所 与那原 上の森かなちホール

演題 「難しくなる保護者対応トラブルを考える」
～学校としてすべきこと、してはいけないこと～

講師 大阪大学人間科学研究科
名誉教授 小野田 正利 氏

申込 所定の FAX 用紙またはお電話でお申し込みください。

※詳しくは、研究所までお問い合わせください。

(TEL 098-998-9561)